



ごあいさつ

「地域を愛する来見の子」(星の子・太陽の子・風の子)の育成をめざして ますますチャレンジ！

長く続いたコロナ禍も少しずつ終息の兆しが見え始め、何の心配もせず開放的な気分で過ごせる日が来るのが待たれる中、令和5年度が始まりました。今年度は、児童65名でのスタートです。

昨年度は感染症対策をしながらではありましたが、延べ100名を超える方々が学校に来てくださり、子ども達の教育に携わって下さいました。今年度は更に多くの保護者の皆様、地域の皆様に来ていただく機会をつくっていきたいと思います。本年度も、本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、本校は、「伸びよう つなごう おこそう」という校訓をもとに、めざす児童像を〈「地域を愛する来見の子」星の子・太陽の子・風の子〉と表現しています。今年度も、この児童像を子供たち自身が意識して日々過ごすよう、具体の姿を短い言葉で繰り返し表現していこうと思います。

- 星の子：自分で考え、みんなといっしょに勉強する子
- 太陽の子：笑顔いっぱいやさしい子
- 風の子：元気でチャレンジする子



そして、本年度のキーワードは、昨年度に引き続き「**チャレンジ**」です。

昨年度1年間、子ども達も先生達も「チャレンジ」を意識して、学習だけでなく日々の様々な活動を行ったところ、少しずつではありますが、子ども達の行動や表情、気持ちが変わってきました。総合的な学習に時間にこれまでにない販売活動を行ったり、児童会本部役員が企画して、準備を含めすべてを児童だけで行うミニ運動会を行ったり・・・授業中にも活発に意見を出し合う姿が増え、「自分たちが自慢したいこと」をまとめる学習で「全校ががんばっている『チャレンジ』をじまんしたい」と発表したグループもありました。このように、じわじわと「チャレンジ」の種が一人一人の中で芽を出し、大きくなりつつあります。

今年度は、その「チャレンジ」の芽をしっかりと伸ばし、大木に育っていくよう、引き続き「チャレンジ」をキーワードに様々な取組を行っていきます。65人一人一人が楽しんで色々なことにチャレンジし、学校全体が活気あふれる1年になるよう、職員一同、誠心誠意、教育活動に邁進してまいります。忌憚のないご意見や感想をお寄せ下さいますようお願い致します。

来見小学校 校長 藤井 裕子

